

新みかわ

発行

随時

No. 一九六号 二〇一七年四月号
日本共産党 三川町委員会
☎(六六)三七五五

明けまして

おめでとございませう。

日本共産党三川町委員会

迎春



大荒れだった昨年の末の国会。TPP、年金、カジノ、沖縄、南スーダン、原発など、安倍暴走政治に不安を感じている方は多いと思います。このままにはできません。

国会では、長時間労働規制法案、被災者生活再建支援法改正など、野党共同提案を重ね、共闘の条件を広げられました。党大会、創立95年。歴史的な年です。

参議院選では、十一人の野党統一候補勝利、岩渕友さんを当選させることができました。来る総選挙ではさらに市民と野党の共同を広げ、比例でも躍進して、ふなやま由美候補とともに、東北から2議席を絶対確保する決意です。

衆議院議員 高橋 千鶴子



被災地、福島、福島の切り捨てを許さず、東北の心を国会へと、比例区で岩渕友さんを参議院に送っていただきました。選挙区で野党と市民の統一候補者を次々に勝利させていただきました。

新しい参議院議員の奮闘に国会の雰囲気も変わっています。発効しないTPP協定批准やカジノ解禁法、年金カット法などの悪法を数の力で国会の会期を延長してまで強行した安倍政権の暴走政治打倒へ、日本共産党の躍進と、新たな野党と市民の共闘を発展させましょう。戦争法廃止、安心できる社会保障、東北の農業と食料を守るため私も全力を尽くします。

参議院議員 紙 智子



初めて議員となってこの四年間 一般質問を欠かさず行い、町民の願いを議会に届けてきました。時に失敗や間違いで心が折れそう

な時、皆さんの声援や励ましに支えられ町議会議員の仕事を進めることができました。子育てするなら三川町、暖かい福祉と医療が充実している町を作りたい、それが私の願いです。

私たちのくらしは収入が増えないのに負担ばかり、真面目に働いても安心して暮らせない社会になっています。これは政治の責任です。憲法をくらしに生かす政治を実現し、平和と民主主義を守る日本共産党町議会議員として皆さんと力を合わせ引き続いて力を尽くしがんばります。

三川町議会議員 田中 あきら



初めての臨時国会では、TPP、原発事故を終わったことにして原発再稼働に突き進む安倍政権を許さないと、皆さんの声をぶつける事ができました。

数の力で何でも強行する自公と維新。それを許さない国民の世論と運動の広がりを実感しています。

高橋千鶴子衆議院議員、紙智子参議院議員と国会論戦で奮闘するとともに、来るべき総選挙で安倍政権打倒するために、野党共闘の発展と日本共産党の躍進へ全力を尽くす決意です。

参議院議員 岩渕 友

新しい年を平和とくらし守る躍進の年に！

新春のつどい

日時 1月8日(日)
昼12時～

場所 押切上町公民館

衆議院議員 高橋 千鶴子さんが来ます。

会費 500円(懇親会費)

主催 日本共産党三川町後援会

田中あきら町議の十二月議会報告

三川町定例議会が十二月六日から開催され、総額6988万1000円の補正予算が全会一致で可決され、28年度予算総額は49億1412万6000円になりました。補正の主なものは小学校管理費1200万円（横山小学校一年生2クラスへ・特別支援学級新児童に対応のための教室改修工事）、若者定着奨学金返還支援事業655万2000円（県内市町村定着のための大学生奨学金返済支援）です。

年金減額中止を求める意見書否決

議員発議として田中あきら議員は、公的年金の
際限のない削減によって高齢者のくらしを圧迫す
る国民年金法等の改正法案の廃案を求める意見書
を提出しましたが7対1で否決となりました。



○雇用の経費引き上げ

（田中） 学童保育指導員の処遇改善は。

（答弁） 社会保険加入・賞与支給等待遇改善を行っている。町補助金で平成27年度から指導員の雇用に必要な経費の補助率を引き上げ保護者の負担軽減に努めている。

○代替機能施設として整備

（田中） 2020年オープン予定の複合施設、地域交流・子育て支援施設での学童保育所の具体的な在り方は。

（答弁） 児童交流センターの代替え機能を有する施設として整備する。

（田中） 整備される学童保育所は最大何名入所可能か。

（答弁） 90名利用できる施設として考えている。



○施設の拡充と利用

（田中）当事者が年金で入れる介護施設は。

（答弁）特別養護老人ホーム「なの花荘」は比較的低額年金受給者でも入所が可能、また町内にグループホーム・小規模多機能型施設・老人保健施設・サービス付き高齢者施設がある。要介護状態や経済状況等に応じて入所の相談、支援し有効に活用されている。

（田中）特別養護老人ホーム「なの花荘」の入所待機者の現状と対策は。

（答弁）特養「なの花荘」待機者は約100名、その内三川町民は約3割。

待機者の支援としてショートステイ・デイサービスの介護支援プランを提案し、在宅介護でより安全な生活の場を確保できるように支援していく。

（田中） サービス付き高齢者住宅等へも国民年金でも入れる町独自の施策の考えは。

（答弁） サービス付き高齢者住宅等施設入所については家計、身体状況で相談等しているが、出来る限り在宅において安全安心な生活で本人の自助努力を含めた在宅サービスの方向で考えている。

○ゴミ問題について

（田中） 鶴岡市へのゴミ処理委託料について町としてはどのように考えているか。

（答弁） 現在受委託を前提に鶴岡市との事務レベルでの打ち合わせに入っている。平成32年3月末を目標に委託料の算定ルール等を決定する。今後とも鶴岡市との真摯な協議を重ねていく。

（田中） 「ゴミ処理委託料」が三川町に示される前に全国の委託事業化している先進事例を調査し、積算基礎等を把握し対応すべきでは

（答弁）市町村間の一般廃棄物処理は山形県には事例がない。全国には市町村間で受委託の

例もあるが可燃不燃ゴミ最終処分等施設の経過年数で委託の単価料が違う。本町と類似な委託がないか更に調べていく。

◆2017年度

町政執行にあたっての要望書を提出する



日本共産党三川町委員会は、十二月二十日、町長にたいして

- ①政治姿勢について11項目。
- ②総務企画行政について31項目。

- ③福祉・医療・介護・国保行政について15項目。

- ④産業行政について5項目。
- ⑤教育行政について9項目。

- ⑥建設環境行政について4項目。
- 合わせて85項目について要望書を阿部町長に手渡し懇談しました。